群馬県「一郷一学」認定事業　　嬬恋村インタープリター研修会（フォローアップ講座）

都市鳥と吾妻の野鳥

3月の嬬恋。森の中ではシジュウカラに続いて、メジロやカワラヒワなどのさえずりが聞こえ始めます。さえずりは鳥達のラブソング。繁殖期が近づいているのです。

今回は地元嬬恋村出身で都市鳥研究の第一人者である唐沢孝一氏をお招きし、鳥が都市環境をいかに利用し生活しているか、そして鳥の目で見る都市文明について語っていただき、午後は歴史ある日本野鳥の会吾妻支部による野鳥観察会を体験します。

…もうすぐ森中が鳥達のさえずりにつつまれるその前に、野鳥のお勉強はいかがですか…。

■日　　時　平成19年3月6日（火）
午前9：30～15：00（受付9：00～）　雨天雪天決行、荒天中止

■会　　場　ログコテージ ふりーたいむ と周辺の森（地図と住所は2枚目参照）

■講　　師　【午前】唐沢孝一　　【午後】日本野鳥の会吾妻支部

■内　　容　午前中はスライドを利用した都市鳥の生態講義、午後からは野鳥観察会。

■定　　員　30名（先着順、一般10名、当会会員20名）まで

■参 加 費　当日徴収 1,500円（嬬恋村インタープリター会会員は無料）

■持 ち 物　防寒着、防寒靴、日本野鳥の会発行「新・山野の鳥」、雨具、筆記用具、双眼鏡、自然観察用具、（昼食は各自で）

■保　　険　傷害保険に加入

■申込方法　下記にご記入の上、必ずFAXかE-mailでお申込みください。

■申込〆切　2月27日（火）まで

■主　　催　嬬恋村インタープリター会　／　■協力　ログコテージ ふりーたいむ

嬬恋村インタープリター会は、群馬県「一郷一学」の補助金を受けて活動を行っています。

申し込み先：木村道紘（当会研修担当）　FAX 0279-97-1216　E-mail mail@interpreter.jp

研修会「都市鳥と吾妻の野鳥」 参加申込書

ふりがな お 名 前		性　別	
生年月日		ご 職 業	
ご 住 所	〒		
T E L		F A X	
E-mail		所属団体	

本観察会では、日本野鳥の会発行の「新・山野の鳥」￥550を使用します。予約販売を致しますので、お求めの方は右の欄に○印をお願いいたします。（日本野鳥の会推薦の「新・水辺の鳥」も同時販売いたします。この機会にぜひ一緒にご購入ください。）	書　籍　名	購入の方は○印
	新・山野の鳥	
	新・水辺の鳥	

※今回ご記入いただきました宛先には、今後当会よりイベントの案内を送らせていただきます。
※行事実施写真は主催者の広報活動に使用させていただくことがあります。

《会場までの交通》

■ ログコテージ　ふりーたいむ

〒377-1612 嬬恋村大前 1572

TEL0279-80-6000　FAX0279-80-6001

【嬬恋村役場より】

国道 144 号線から嬬恋村役場を右に見て 30m 先左折→ JR 大前駅踏切を渡り→直進 30m 前方 Y 字路を右山道を約 1.0Km 登り上げて 100m 先右折 100m

http://www.aco.co.jp/freetime/

《入会について》

本会は嬬恋村の自然を愛し、以下の会則第 2 条の趣旨に賛同していただければ、どなたでも入会することができます。（入会についてと会則第 2 条）　http://interpreter.jp/inpuritoha/nyukai.html

入会ご希望の方は、平成 18 年度入会金￥1,300（年会費・保険料含む）を指定銀行にお振込いただき、以下の申込書にご記入の上、郵送・FAX・E-mail にてお申込みください。

■入会申込書は以下よりダウンロードしてください。

http://interpreter.jp/database/registration_sheet.doc　（ワード文書 doc ファイル（136kb））

◎指定銀行　　群馬銀行　嬬恋支店　普通　445867　ツチヤ　シゲジ

◎お申込み先　　〒377-1528　群馬県吾妻郡嬬恋村干俣万座温泉 2401　万座温泉ホテル内

嬬恋村インタープリター会会員担当　木村道紘　TEL&FAX 0279-97-1216

《講師プロフィール》

■唐沢 孝一（からさわ こういち）

1943 年、嬬恋村三原出身。都市鳥を中心とした都市生物の生態、および自然観察の方法について研究している。自然観察会や社会教育会館などの主催する講座の講師、雑誌や新聞、企業誌などのエッセイの執筆やコメント、講演やテレビ・ラジオ出演などと精力的に活動中。自然観察大学副学長、埼玉大学教育学部講師、都市鳥研究会代表、日本鳥学会評議員。

【おもな著書】「校庭の野鳥」、「野鳥博士入門」（全国農村教育協会）、「カラスはどれほど賢いか」（中公新書・中公文庫）、「江戸東京の自然を歩く」（中央公論新社）「よみがえった黒こげのイチョウ」（大日本図書）、「都市鳥からフォークロアへ」（百水社）など。

■日本野鳥の会吾妻支部

昭和 40 年 11 月、星野嘉助氏の指導と名誉会長中西悟堂氏の承認により 12 名で発足。当時、日本一小さな支部であったので、会誌題名は黒岩憲司会員の提案で日本一小さい鳥、『きくいただき』とした。

現在会員数約 140 名。現会長（4 代目）は堀込紀夫氏